京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓鐵經濟の前途(三)

（某當局者の談）

△小手荷物賃率沿革　小手荷物賃率の變遷は繁雜に渉るを以て單に概要を記せんに明治卅二年九月京仁線開業と同時に小手荷物貴重品、荷車、行商品、轎子、嵩高品、犬、死体危險品等の賃率を制定せり京釜は京仁合併後卅八年一月賃率統一の爲め之を改正し新に特種品の賃率及獸類並に貴重品の増賃金保管料等を制定し續て卅八年九月右賃率を遠距離遞減賃率に改正し尚ほ貴重品、動物、特種品の賃率を改正せり京義、馬山線は卅八年十月便乘開始と同時に軍用鐵道監部に於て内地鐵道の夫れに倣ひ遠距離遞減賃率(配達をなさず)及嵩高品、行商品、車輛類屍体、小動物、貴重品の賃率並に保管料等を制定せり卅九年七月管理局設置後に於ても右賃率を襲用し四十年一月一日全線統一を期する爲め從來の賃率を參酌して殆んど内地鐵道と同一なる諸種の賃率を制定し遠距離遞送の便を計ると同時に停車場より一里半以内に於ける荷主の住所には無賃配達をなすこととし先づ京釜京仁に之を施行し四十一年四月京義馬山線に施行せり茲に於て韓鐵小手荷物賃率の統一全きを得以て今日に及べり

△貨物賃率變遷　卅二年九月京仁線開始と同時に貨物は噸數速達便扱、貸切扱を爲さず總て斤數扱として其賃率及保管料を制定せり京釜合併後は卅八年一月賃率統一の爲め全線を通じ貸切扱を除き斤扱、噸扱、速達扱の賃率及び高價品の増賃金並に保管料を制定し續て同年九月右賃率中速達便扱、最低運賃を改正し新に發着手數料を制定せり此間京仁線の噸扱は同年六月限り廢止し更に翌年十二月復舊せり京義馬山線は卅八年十月便乘開始と共に速達便扱、貸切扱を除き斤扱、噸扱の比例法賃率及び長尺物、高價品、火藥類の賃金を制定し續て四十年四月一日右賃率中長尺物及び高價品賃金を改正し新に車輛類動物の賃率並に保險料を制定せり卅九年七月管理局設置後も右賃率を襲用し四十年一月全線統一の爲め之等を參酌し殊に京義馬山線の高率を廢する目的にて遠距離遞減を行ひ諸種賃率を制定し先づ京釜京仁線に施行し同年四月又京義馬山線に施行し茲に貨物賃率の統一を得以て今日に及べり(未完)

●蠶林組合の設立計畫

韓國の氣候風土は最も作蠶業に適し既に水原勸業模範場其他にも試驗せし結果頗る良好なるを以て韓人農家の副業として各地に蠶林組合を設立し作蠶事業並に殖林を奬勵すべしとの趣旨にて同組合組織の計畫あり主唱者は日戸勝郎氏にして元老金允植、李道宰、李重夏、李容植、李載克、金在珣、金夏演、鄭雲復等諸氏も贊同し目下會則其他の起案中なる由

●全群道路と全州繁榮

群山、全州間の道路は架橋工事等も先月既に竣工し目下全群組合の馬車四五輛を運轉し人力車の往復も頻繁なるが交通の便加はると共に全州移住の邦民は益增加し同地は逐日繁榮に赴きつゝあり

俳句

●稲妻十句　千春

稲妻にすい附かれたる乳房哉
稲妻やこゑかけて取る馬の口
稲妻や一と群れもざる船大工
稲妻やたゝいて走るうしの尻
稲妻や常は氣附かぬ戸の隙間
稲妻や碎けてしろき浪がしら
稲妻や狂病院のがらすまど
稲妻や陣地すゝむ敵のまへ
稲妻やすじかいに行く反畝道
夜走りや七台追風に稲妻

中山大納言

第五十二席　桃川燕玉演

傳次郎が段々の話を聽いて、又太夫の後家は一度は驚き又一度は喜び　主婦「それやれやまアさうであつたかい、やれ／＼まア大層立派に御成りだが、今更親子の名乘りも面目ない、言はれて見れば何を隱さう私は甚助の妻、お前が二歳の時に甚助殿は死に女の手一つでどうする事も出來ないから、傳左衛門殿にお前を進げて、其當座乳母に私が八幡屋さんへ行つて居た、段々お前が大きくなるに從つて、側に居ては爲になるまいと、無斷で八幡屋を出てしまい、彼方此方を彷徨つて、伊勢の古市で耻しい話ではあるが遊女になつて、長い間古市に居た、又太夫殿が大神宮様へ参詣をしなすつて、古市に遊びに御出になつた時に不圖馴染めた所から、又太夫殿に根引をされて、此宇佐八幡へ來て長い間此處に居りました、先達又太夫殿は死に、私が女主人でやつて居つたのだが、鳥の啼かぬ日はあれどもお前の事を思ひ出さない事はなかつた、さては斯んな立派な人になつて、能くまア尋ねて來て下すつた、是と云ふものも傳左衛門殿の御丹精、やれ／＼まア有難い事だが、傳左衛門様は御歿なりなすつたか、能くまア傳次郎來て下すつた」と涙と共に手に手を取つて、互の喜びは一方でございませぬから、傍に聴いて居りました手代並に出入りの爲の者も思はず涙に咽んで「ア、有難いのは神様、全く是は八幡様の御利益、且は恐れ入つたのは占考斯うも能く當るものか藤井右門と云ふ先生は實に日本一の名人、私共も誠にこんな喜ばしい目出度い事はございませぬ」と互ひに涙を流し喜びました

茲で翌日は早速宇佐八幡へ神樂を奉納し、就てはあなたは是非江戸へ御連れ申し御世話をしたいと云ふ所から、鵜羽又太夫の親戚の者を當家の養子として、其家を相續させる事に取計つて、老母を連れまして傳次郎は江戸表へ立歸りまして、早速藤井右門方へ親子打揃つて來て厚く禮を述べました、此老母を傳次郎が誠に大切に養ひ、孝行に孝行を盡しました、是が竹内式部藤井右門の計らひだが、併し斯様な事は縱令嘘でも人の爲になりまする事だから決して惡くはない。さア是から八幡屋傳次郎が藤井右門を神佛の如く尊んで、何事も此人の言ふ事は背かぬと云ふ、後には大きな迷惑を致したのだが……、

扨山縣大貳と云ふ人は、上州小幡で二萬石織田美濃守家老吉田玄蕃と云ふ人が大貳の軍學の弟子だ、此玄蕃が主人に大貳の事を段々取持ちまする所から、織田家へ始終出入りをして、軍學兵法を御指南、經書の講釋などを毎度致しまする所から美濃守様が殊の外大貳を御寵愛遊ばすと或一日、相變らず赤坂溜池の織田様の屋敷へ出て、山縣大貳が兵學の講釋をして、それから元龜天正時代の英雄豪傑の話を致しました、尤も雄辯家でございまする、誠に面白く御話を致しまするから美濃守殿始め一番の士故に懇意を致して居りました時に、御先祖織田右大臣信長は日本無雙の名將、天朝へ忠勤を勵み、日本三分の二を切り從へ、今少しで天下泰平と云ふ所で明智の爲に無念の最期を遊ばし、世の中が遷り變つて今徳川の天下になつた、是が信長公が本能寺の禍が無かつたなら、今は織田の天下であつたらうと、頻りに美濃守様の御心の動くやうに御話をした、饒舌る人が天下に有名の軍學の大先生、自然と重しがあるから、美濃守殿始め一番の士が昔を思ひ出し「成程信長が半途で御殪れなさらなかつたら今頃は織田の天下であつたらうと云ふ、自然昔の事を思出して拳を握り腕を摩つて、座中は活氣を帶びて參りました、時に山縣大貳が　大「さて御前へ申上げます、拙者が仔細あつて手に入りました、私が持つて居りましても益のない物、是は御前様へ差上げまするから御秘藏を願ひたい」と取出したのが赤地錦に瓜の紋付たる一旒の旗　大「御先祖右大臣信長公戰場往來を遊ばした時に御用ゐになつた、信長公御手垢の付いた御旗でござる」と云つて差上げた、成程時代と云ひ頼と疑ふ所のございませぬ信長公御所持の御旗に相違ない、さア美濃守大いに御喜びになつて　美「誠に嬉しい、忝なく受納致し置く」と云つて其日は莫大な下賜品があつて大貳を御歸しになる。茲で美濃守殿が御心が動き出した先祖信長の用ゐた旗が余の手に入つた、今徳川の勢ひ盛んなるに依て朝廷を蔑にし誠に役人共が行ひ正しからぬ、王政復古の大功を茲に立てやうと云ふ御心が始めて出ました、吉田玄蕃と云ふ者が頻りに又美濃守殿を唆かしまする所から、茲で織田美濃守殿が山縣大貳にボーンと合体を致す。何しろ二萬石の大名が味方に付いた、竹内、藤井、山縣と云ふ三人大喜び、そこで赤坂溜池の織田の御屋敷へ有志の者が集りまして段々相談をした、時に吉田玄蕃が「兵を起すには大義名分と云ふ事が大切、其名正しからざれば徒に謀叛人、逆賊と言はれるのは殘念、どうかさう云ふ事のないやう名を明にしたい。



輸出牛の發展

京城新報

韓國に於ける牧畜業は未だ見るに足るべきものなしと雖も、個人の畜牛に至りては大に注目するの價値なくんばあらず、殊に北韓に於ける畜牛に至りては輸出國產として見るの價値あり十數年前に於て故神鞭知常氏の發起により設立したる日露韓貿易會社は北韓の畜牛を日本及露國に輸入するを以て重なる目的となし、創立勞頭多數の畜牛を浦鹽斯德に送りて其需用を試みたるに其價格の廉なるが爲に好評を博せしも、關税の高率になれると陸上げの面倒なる等より其後大仕掛けの輸出は殆ど中絶したるも豆滿江岸より露領に輸出さるゝ畜牛は年々に增加し、浦港附近は北韓牛の獨占場たるの觀あり、而して日本への輸出は如何と云ふに是又漸次增加し來り、今や韓國牛は我關西地方の食膳には欠ぐ可らざるものとなれり、今日本に對する輸出牛の發展を見るに去る三十一年に於ては僅に七百三十一頭を輸出し三十七年には千八百頭となり、四十一年に至りては一躍して一萬九千二百八十六頭の多數を輸出するに至れり、而して其輸出先は長崎に三百八十三頭、嚴原に三千三百六十四頭、下關に一萬五千五百三十九頭其運搬は概して帆船に依れるもの〻如し、二萬頭の牛は一頭三十圓とするも六拾萬圓となる、若し之に露領行の數萬頭を加ふれば亦看過すべからざる國產と云はざる可らず。

此勢を以て漸次輸出の增加するに於ては畜牛は韓國の重要國產として奬勵するの必要あり、呑氣なる韓國農夫は輸出の盛になると共に畜牛の減ずるに想到せず、依然さして更に增畜の計畫をなさゞるに於ては將來に於て韓國牛の絕滅を見るに至るやも知る可らず彼の山林の例によりて之を見るも甚だ氣遣はるゝ也、現今の韓國に於ける禿山は概して濫伐植林せざるの結果也、濫伐の儘に經過すれば山の禿げて赭土を見るは當然也、然るを渠等は恬然として放任し來れり、余輩は之を思ふて畜牛の輸出盛なると共に韓牛の減却を見るなきかを憂ざるを得ざる也、玆に於て畜牛を奬勵する急務なるを感ぜざるを得ず、農政當局者は必ずや玆に見る所ありて奬勵の途を講じ居らるゝ事と信ず

北韓の野は畜牛に適す、若し夫れ政府に於て之を奬勵せらるゝならば韓國の輸出牛は滾々として盡きざるべし、必ずしも大規模の牧場を起畜せざるも可也、唯其飼育方法に改善を加ると共に從來よりも多數に飼育せしむることを奬勵せば可也、惟ふに北韓の野は獨り牛のみならず羊豚の飼養にも適すべし、若し夫れ北韓の牧畜業にして發達せば啻に其輸出を盛にするに止らず、北韓の開拓に多大の援助をなすに至るべし、何れの點より見るも牧畜の奬勵は決して等閑に付すべき問題に非ざる也。

東京電報

▲皇太子殿下御發程

皇太子殿下には今朝新橋を御發程北陸行啓の途に就かせらる三皇孫殿下各宮殿下其他文武官の奉送頗る盛んなり(十五日)

▲神戸市の大火災

昨夜神戸市兵庫住吉通より出火折柄の强風に火勢頗る盛に二百余戸を延燒す(日韓通信)

▲神戸火災の別報

昨夜午後七時二十分より神戸市兵庫住吉通り一丁目一番地貿易商永田助太郎方より出火し附近を燒き拂ひ神明町に延燒し八時三十分に至るも火勢猛烈にして鎭火せず警察憲兵隊總出を以て消防に努めつゝあり委細後報すべし(十五日午前六時發)

▲兵庫出火の後報

兵庫火災の詳報によれば燒失家屋は火元の竹細工商材木商外十七戸にして夜半十二時鎭火せり損害額は約五十萬圓と算せらる(十五日午後一時)以上二件電報通信記者曰く兵庫火災の燒失家屋數は日韓電通と日本電通との通信に非常の相違あるも双方を並記して後報を待つ

▲東拓の定欵改正

東洋拓殖會社は金融部を擴張し資本の半額まで融通し得る事に定欵を改正するの必要を認め大藏省と交涉中なり多分來期議會に提出せらるべし(同上)

▲鐵道借欵の受授

吉長新奉鐵道借欵金二百二十九万七千百圓滿鐵支社にて授受を了したり(同上)

▲國債償還の期日

政府は既電の如く第二回國庫債劵の內二千萬圓を十月一日抽籤を施行し三十日を以て償還する旨發表せり(同上)

▲韓學生の入學成績

中央幼年學校に入學せる韓國學生は目下數漢學の試驗を受け居れり然るに孰れも日本語の會話に差支へなく又假名交りの試驗問題を讀み得ざるもの尠し(十五日)

▲舊關鐵社債償還

舊關西鐵道社債四萬二千九百三十圓十月三日償還の筈なり(同上)

▲事務官補の出張

千葉縣事務官補脇本米司氏は韓國へ出張を命せられたり(同上)

北京電報

▲吉林淸人の頑迷

吉林の淸人等は吉林會寧間鐵道布設の日淸協約成立に對し猛烈なる反對運動を開始し其勢力侮り難きものあり而して吉林出身の在北京人等は是れ對し密議を凝らし居れり(十五日)

ルーター電報

▲露國政府の躍起

露國は日淸協約を以て露國の利益を危くするものなりとし滿洲蒙古の國境に守備兵を大に增派せんと敎圖居り(十五日東京經由)

雜報

●司法權の實施期

司法權委任に關する實行の期限は明年四月一日會計年度の初期より實施せらるべき豫定なりしが其筋にては今般之れを變更して成る可く本年內に實施すべしとの說あり

●度量衡器入札の錯誤

農商工部度量衡課にては今回裁可を經たる豫備金の支出を得て昨朝度量衡各器の請負入札を執行したり其中量器の入札に於て甲乙入札書を嚴封し係官に提出したるに開封後是を檢すれば乙は九千圓と記すべきを四千圓と記入し五千圓の錯誤を來し居れるに一驚を喫し今更如何ともするに由なく只管當該官の措置を待ち居れり而して此事に就き當局吏員の語る處によれば九千圓のものを四千圓にて供給し得べからざるは何人も是を認むるに難からず又該入札書を撿するも內譯を計算すれば明かに其誤記たるを確め得るのみならず入札保證金も是に相當金額を提供しあり然れば入札者の錯誤は充分是を諒知するに足るべきが一方入札規則によれば內譯計算相違の場合は總計金額を以て是を採用すべく規定しあり故に嚴格に之を律すれば當然落札者と認むべきも斯くては到底善良なる品質を納入し得ざるのみならず入札者の錯誤は如上諒すべき次第なるを以て是を無効とすべきか或は亦有効として契約を强要し乙の契約拒絕を待ちて再入札に付すべきかに付き目下協議中なり而して事は小なりと雖も將來斯かる場合の先例となるを以て篤と利害を考究し以て決定を與ふべしといふ

●地方費の賦課目決定

各觀察使は四月一日を以て發布されたる地方費法の規定に從ひ其科目、科率及び納期其他賦課に關して內部、度支部兩大臣の認可を申請したるが兩部の意見相一致せざる處ありたるより屢々折衝を重ねたる結果本年度に限り科目は地稅附加稅、市場稅及び屠獸稅の三とし科率及納期は附加稅にありては百分の五乃至十として國稅徵收の際同時之れを徵收し市場稅は賣揚高に準して開市後之れを徵收すべく又屠獸稅は牛一頭に付一圓以上として屠殺の際賦課徵收することに決定したるを以て兩部は此の標準に從ひ各道より提出したるものに認可を與へ各道は此の認可の範圍に於て豫算を編成し財務署の手に於て賦課徵收することゝなる筈にて遲くも十月中旬頃迄には地方費の運用を見るに至るべしさ尚本年度に於ける地方費額は會計年度の中途よりなるを以て徵收額を豫知する能はざるも來年度に於ては大道は七八萬圓小道と雖も二萬圓を下らずと

●稅關長會議追加事項

稅關長會議は去る十三日を以て終了せしが協議事項は既報の外左の各項なりと云ふ

一、貿易統計は從來稅關又は支署に於て第一次の整理を爲し更に本局にて之を總括編製せしも手數を省減し事務の一層簡捷を圖る爲め從來の方法を廢し凡て本局にてカード式に依り統一整理すること

二、既定の貿易統計表下付手數料を輕減し普ねく當業者の請求に應ずること

三、輸出入貨物の通關及び本船積卸業に要する諸掛費を輕減するの方法を講じ以て貿易の奬勵を圖る事

●虎疫流行と警視廳令

醫師、藥劑師、藥種商及び賣藥舖が吐瀉病又は下痢患者を診斷するか又は投藥し或は本病に對する藥種を賣渡せし時は其患者へ住所氏名を即時警察署巡査駐在所又は派出所に口頭若くは書面にて申告すべく本令に違反する者は十圓以內の罰金又は十日以內の拘留に處する旨十四日警視廳令第三號を以て發布されたり

謹告

豫て大方各位の御贊同を得て編纂企て候**朝鮮紳士錄**は着手殆んど**脫稿**一部分は已に印刷に附したる所**商業會議所議員**に變動を來し**鐵道管理局**の官制改革、**軍部**の廢止等種々制度の上に變更を生じ候爲め其都度原稿を改竄するを餘儀なくせられ編纂上に意外の日子を要し**昨今漸く脫稿再び印刷に附し候**樣なる次第にて到底來る十五日迄には送本の運びに至り兼候間何卒左樣御諒察被成下度尤も**送本期日確定次第**御報告可致候得共不取敢以上の顚末に對し得貴意度此段謹告仕候敬具

尚會社銀行等にして今日に於ても組織變更其他に付原稿變換御申込の向有之候得共右は印刷上の都合御受付致兼候に付不惡御承了被下度候

九月十四日

京城新報社出版部

●韓國黒鉛の前途

▲黒鉛性質 各原素中同質異形を以て化學上に有名なる炭素三体(金剛石、炭、黒鉛)中の一にして石炭と同じく前世紀植物の炭化に屬する黒鉛は其年代も殆んど石炭と同時代に在りて既發見の種類は七十五種なるが粉末若くは粒狀等其他夾雜物の如何に依り區分さるゝものなり

▲商品時代 今より十年前迄は歐米を通じて其需要額僅に二萬噸に過ぎざりしが近年製鐵業の發展に伴ひ今や二十萬噸に上り尚は益增加の趨勢あり商品としての品質は普通純黒鉛の七十乃至七十五パーセント以上を要す當時世界中性質の最良にして產額の豐富なる印度錫蘭島なるが同島產は實に九十より九十五パーセントの純分を有せり

▲韓國黒鉛 の初めて歐洲に紹介せられたるは一昨年某米人の日本に渡來し黒鉛を搜索せしに基因するもの〻如く而も今や韓國は其產地として世界に知らるゝに至れるが今日迄韓國にて發見されたるは五種類に止るも今や產地の發見と共に其種類も增加するに至るべし

▲主要產地 十三道中殆んど到處に黒鉛の在るを見るも就中慶尙、平安、咸鏡地方は其產出の饒多なるを見る

▲倫敦相場 本年六月二日倫敦に於ける韓國產粉末狀黒鉛品質七十五パーセントのもの一噸の價格五磅十志の相場なりしが此價格は決して悲觀すべきものにあらざるも歐洲に輸出するには運賃其他の經費多く滿足すべき價位に非ず獨逸邊にては六十パーセントより商品たるの價値を有するも韓國の如き需要地に隔絕の地は是非上級の七十パーセント以上の品質を有せざるべからず

▲一大富源 此新富源は未だ統計に上す程の調査程度に至り居らざるも目下競ふて討査に從事しつゝあれば今後益々見るべきものあるに至らん要するに黒鉛は市場に出すの手續簡單にして他の礦物に比し比較的資金勞力を要せざるに係らず產額大に豐富なるを以て將來黒鉛が韓國の一大富源たるべきは殆むど疑を容れず

●輸出米の奬勵と當局

韓國の米穀類は輸出貨物の第一位を占むるものなれば之れを奬勵するは最大急務なりとし過日の稅關長會議に於ても其方法に就き諮問する處ありしが要は別項記載の如く米穀の產地より輸出地に到る迄の費用を省略するにあるを以て倉庫を設け金融の便を開くと輸出貨物が生產者より輸出業者の手に歸する迄の經路及改善に關して其の方法を調査することになりたりと云ふ

●枝光製鐵所長官來韓

枝光製鐵所長官中村中將は十八日出發渡韓の途に就き十九日入京の由其筋へ通知あり尚は宿泊所は天眞樓なりと

●聯合會の提出議案

今十五日より向ふ五日間の豫定を以て開催すべき日本人商業會議所聯合會議案左の如し

「京城」

一條約改正に付意見開申

一米穀輸入稅引下に關し意見開申

一韓國土地整理に關し意見開申

一在韓日本人商業會議所資格に關する第七次聯合會決議の實行を促すの件

一韓國內電話區域に關し建議の件

「鎭南浦」

一日本に於ける米及雜穀に對する輸入稅を戰時稅以前の率に復舊せられんことを其筋へ請願するの件

一日韓關稅同盟を其筋へ建議するの件

一穀類の撿査令發布を其筋へ建議するの件

議に聯合會にて決議し其筋へ提出したる件

左記事項の實行を促すの件

一韓國農事改良に關する建議

一韓國輸出稅全廢の請願

一各港に於ける稅關鑑定價額の均衡を保たしむるに付建議

「群山」

一韓國沿岸航路汽船統一の件

「大邱」

一穀物輸入稅增率法案反對運動の件

「平壤」

一輸出關稅の全廢を其筋へ請願の件

一在韓國日本人商業會議所に關する法規の發布を其筋へ請願するの件

二韓國々道改築經過質問並に速成請願の件

三前次聯合會の決議に依り請願したる事項にして未解決のものを促進するの件

「仁川」

一本邦關稅改正に當り輸入韓國生產品課稅に對する希望

二日本に輸入する韓國產米、麥、豆其他穀類に對しては輸入稅を輕減せられたきことを建議せんとす

三韓國銀行に對する希望

「馬山」

輸入稅率改正希望率

一米、籾、大麥、小麥、小豆、粟、綠豆、荏子、麻子、其他の穀物一切 無稅

一生牛、豚、鷄、羊、其他家畜類一切 五分稅

一生乾魚に拘はらず魚類は一切 無稅

一皮類は其何種なるに拘ず下級品一切 無稅

「釜山」

輸入稅率改正希望率

一米穀、大豆、活牛、牛皮 無稅

●新井時事編輯長

東京時事新報編輯長新田由三郎氏は同記者曾木實彥氏を隨へ去月中旬東京發滿韓視察の途に上り芝罘天津、北京、營口、大連を經て目下奉天、長春方面視察中なるが歸途安奉線を經て入韓韓國各地の視察を遂げ歸朝の由にて京義線に依り當地着は十八九日頃ならんと

●憲兵分隊長會議

來る二十五日より三日間の豫定を以て駐劄憲兵隊本部に於て各分隊長を召集し會議を開く筈なり因に分隊所在地は京城、平壤、大邱、榮山浦、咸興、間島の七ケ所なりと

●西島中將の出發

西島中將は愈々昨十五日午前九時南大門發の列車にて歸國の途に就きたるが曾禰統監以下日韓文武官紳士紳商等の見送り頗る盛んなりき

●米國觀光團退京

滯京中の米國觀光團中の一行七名は十三日慶福宮パコダ公園鐘路東大門附近より本町筋及び昌德宮宗古聖教會等を巡視して午後四時仁川へ向ふ

●全南地方の豐作

全羅南道沿岸の農作は其後の天候順調なりし爲め豐作の豫想確實なる由光州種苗所長より公電あり

●山根正次氏來韓

東京市選出衆議院議員醫學士山根正次氏は曾禰統監病氣見舞の爲め來る廿五六日頃渡韓すべしと云ふ

●警察部長會議の日程

今十六日より開催さるべき警察部長會議の

後一時より學部主管事務に關する指示及教育に關する諮問

十八日 午前九時より警務に關する指示

午後一時より赤十字相談會

二十三日 午前九時より會計事務午後一時より衛生事務に關する指示

する指示

二十六日 日曜午前十時警務局に參集昌德宮秘園拜觀(任隨意)午後一時警務局

二十八日 午前九時より警務に關する事務打合會(三十日歸任)

●防疫費の支出額

仁川にも多數の病系發見に種々の方法を講じつゝあるが此際極力撲滅に力を盡すべく防疫費としては日本人居留民團にて一千圓警察廳にて千五

富氏は警察部長會議に列席の爲十四日入京巴城館に投宿前號倭城臺官舍とせしは誤り

●峰岸社長の歸朝

峰岸本社長は往復凡そ三週間の豫定を以て昨十五日夜行列車に搭乘し東京に向け出發したり

●趙農相の安山行

趙農相は一昨十四日農況視察の爲京畿道安山郡安山へ出張

●產兒院設立計畫

當地曙町居住の產婆三池鶴代伊集院かねの兩人は京城產兒院を設立せんとて目下之れが企劃中なりと云ふ

●虎疫と學校休業

仁川花村洞の虎疫流行地に近接せる仁川高等女學校及び高等小學校分教場は昨日限り臨時休校となれり

●本田博士の入京

水原勸業模範場長本田幸介氏は十四日入京巴城館に投宿せり

●小山醫官の免官

侍從院典醫衆大韓醫院醫官小山善氏は依願免官を發せられたり

近事片々

▲韓國 輸出牛は三十一年に七百三十一頭なりしが四十一年には一萬九千餘頭となる

▲牧牛 は韓國々產の重要なるものとする輸出の盛なると共に其奬勵を怠るべからず

▲現在 の狀況にては輸出のみ盛にすれば終には種切れとなる恐有牧牛奬勵は肝要也

▲露國 海軍大計畫に就て佛國資本家は大に悲觀し居ると軍備擴張は何國でも持餘す

▲軍備 擴張制限の聲は弗々列國に起り來る何れは世界の輿論となり來る時あるべし

▲英國 首相ア氏は社會主義的財政案を提て議會に臨むべしと其勇氣の凛然たる可感

▲貴族 富豪の必然反對するを豫想しつゝ斯る案を提出する信念流石は英國の政治家

▲財政 の整理財政策に就て常に富豪等の御機嫌を伺ひ坏する政治家とは雲泥の相違

▲富豪 貴族等の反對にも不恐自信の案を提出するに非ざれば到底眞の財政は難事也

▲富豪 に迎合せる政治は健全ならず英國杯では例の鰻會の如きものは必要を感せず

▲關稅 條約改正案は公表して民論に問ふべしと牧野男語る併政府に此意氣なからむ

▲民論 を後援とせざる外交は到底充分の事は出來ず國民の後援有て始て强硬の態有

▲日露 戰爭は國民の後援によりて勝ちしと桂侯言ふ外交も亦此理に漏るゝの筈なし

▲駐米 大使には固辭せりと噂せられし內田康哉任命せらるべしと果して適任なりや

▲內田 は如才なき男なれ共大局を見るの明を缺かむ駐米使臣には更に大人物を要す

▲米國 鐵道王ハリマンの死はウォール街を震動せしむ或意味に於て帝王以上の勢力

▲仲買 店の下級書記より身を起して終に一億五千萬弗の產を造る亦是非凡の人物也

▲米國 は國の新しき丈け一代富豪の傑物多く起る巴氏の如き猛氏具氏の如き皆然り

▲前大 統領ル氏のトラスト征伐に反抗せしはハ氏也傑物の對抗は偉觀今や一方逝く

▲財產 を分割して與れぬ逆親父の翠丸を握潰したる大馬鹿娘橫濱にあり噫世は澆季

제215호 1909. 9. 16.

十六日 午前十時より內部大臣及次官の訓示午後一時より警務局長訓示
十七日 午前九時より檢事總長訓示、午
二十日 午前九時より警務に關する諮問
廿一日 午前九時より警務に關する諮問
廿二日 午前十時より警務に關する諮問
二十五日 午前九時より農商工部に參集同部主管事務に關する指示、午后會議場に參集一時より度支部主管事務に關
二十七日 午前十時統監府に參集、午後一時より內部次官及び警務局長の訓示

虎列剌發生し京城に於ても既に十餘名の患者を出したるに就き其の筋にては清潔法に
六百圓を支出することに決したりと云ふ

●湯淺警視の入京 慶北警察部長湯淺秀

▲相談の相談▼

（何でも御相談に應じ升）

◎問 僕は某省の雇にて判任の資格を得度き者就て今後一ヶ年位の間に當京城に普通文官試驗又は裁判所書記試驗ありますか否や當地に於ける時勢及當局者の模樣を伺ひます、若し當今一ヶ年位の中には無き模樣なれば內地へ受驗に行く決心に候に付き行くが宜きや又當地にあつて待つか宜しきや（無名子）

◎答 普通文官試驗は過般統監府に聞き合はしたる事あり其の際の回答に依れば本年中には之れ無るべしとの事なりし而して此れは當時の紙上に發表致したり裁判所書記試驗も當分なかるべしと法部職員課員の談なり、既に司法權の委任もありたることなれば無論採用試驗はあるべきも內地にて採用の上渡韓せしめらる方針なるべし今日迄の行り口が此の推定を下さしむるに充分なり、とは云へ推定に過ぎざれば保證の限りではない、以外は貴下の判斷に任す（係）

◎問 御相談申上候、私は六月に警察官採用試驗に不合格でありましたが此度試驗を受けると出來ぬと聞き落膽して居升、何とか工夫がありませんか、朝鮮でも日本でも緣故がなければ合格せぬと言ふ事ですが事實ですか、又贈品が少ないと不合格とも云ひ升が眞正ですか貴君聞きませぬか（テイ、エス）

◎答 前段御問合せの如き事あるべしと思はれず、有るべき道理なければなり何かの聞き違いなるべし、黑點を附したる後段の一節此れ又有り得可らざる事なり斯る風說は耳にせざるに非ざるも信せざるを賢明なりとす（係）

●村民暴徒を捕ふ

▲勇悍なる里長吳春元

仁川署管內仁川郡德積島鎭里に去る九日午後十時頃朴先奉外四名の海賊現はれ一名は銃器を所持して同里長金基春を脅迫し僞軍令書を示して軍用金一万兩（日貨二百圓）を提供すべしと迫りしにぞ里長は恐怖の念に驅られつゝ里內を奔走して集金したるも僅かに四百五十兩餘集りたるのみなるより之れにて勘辨せられたき旨歎願したりしかど件の海賊は聞き容るべくもあらず亂暴にも同里長を拉去して同里を辭し附近の海岸に繫留せる帆船を奪ひて沖合遠く出帆せんとしたるも折柄强風なりしかば更らに近村の北里に假泊して同じく前同樣なる手段にて同里長吳春元を脅迫したるが春元は生來の强氣者とて少しも臆かず直に調金すべき旨答へ一方酒肴を饗して油斷を與へつゝ同洞に滯在中なりし元巡檢の仁川郡咨洞居住金朴活と云ふに相談して捕縛の手筈を定め何喰はぬ顏にて右海賊の側に近寄るや前記の金は矢庭に海賊の携へ居りたる銃器を奪ひ取りそれと共に里民約四五十名は鬨の聲を擧げて五名の海賊を取圍みたるよりさしもの海賊共も周章狼狽爲す處を知らず鳥驚く／＼する二名を難なく取押へたれど二名は船に打乘りて沖合に消へ失せ外一名は山中に逃亡したるも同里民及び近村の若物二三百人の總出にて草を分けて搜索したる結果同十二日漸く之れを取押へて一昨日仁川署に訴出でたれば目下取調中の由なるが右朴先奉と云ふは本年五月頃にも前記鎭里外數ケ所にて金品を强奪せし不敵の海賊なりと云ふ

●仁川虎疫彙報

▲仁川署員の大活動

▲益々蔓延す 仁川の韓人部落に於ける虎疫は未だに終熄の氣配なく益々猖獗を極むるのみにして今や花村洞、水踰洞、松峴、金谷洞、松林里、平洞、永宗島等は其內にても病勢益々激烈を極め昨十五日午前中迄には患者十餘名を數ふるに至れるぞ遺憾なれ

▲消毒の效果 然れ共茲に不幸中の幸とも云ふべきは日本町に介在せる韓人町には病患者を發見せず只だ單に病毒の散蔓せる地點にのみ限られ居るは一に消毒の效果ありしに外ならずと云ふべし

▲濱町の警戒 仁川濱町三丁目の日本人患者發生區域は既報の如く嚴重に交通遮斷を爲したるのみならず附近に大釜を据附け係警官は人夫を督して煮沸水をば供給し一方仁川病院南醫師は一日數回宛健康診斷を行ひて豫防に努めつゝあり

▲病源地調查 病源地と見做すべき永宗島及び靈光島龍遊島方面に向ひ昨日仁川署二宮警部は巡查二十餘名を率ひて急行し最も嚴密なる檢病的戶口調查を爲したり

▲船舶の檢疫 尙は水上係の警官は一昨日午前九時より正午迄花町より海岸町に至る海岸及び午後は月尾島萬石町海岸に繫留せる各船舶に對し檢病的調查を行ひたるが異狀なかりしと云ふ

●四人組の韓强盜

▲悉く西部署に捕縛す

頃日來韓人强盜の出沒酷しく殆んど警察力の存在を疑ふ程なるが十四日午後七時未だ薄暗時藻峴管內聖堂內八十六統朴承元方に目下住所不定の韓人趙仁淳、高李基、曹連承、全承植の韓人强盜押入り主人朴を荒繩にて縛し脅迫の上銀側時計銀簪等外雜品數點此價格約十三圓餘を强奪して悠々ど引揚げしを訴に依り西部署松田警部指揮の下に敏腕なる部司刑事外數名の巡查これに應援して直ちに追跡し九時過ぎ同類一同を捕縛して目下嚴重に取調中なりと

●宮城に虎病發生

▲患者は秘園の人夫

虎列剌病毒は愈々猖獗を極め昌德宮內に一韓人の患者を出したる由聞知し直ちに內部衞生局其他に就き問合はしたるに患者は龍山萬里倉金聖完にして秘園の工事に傭はれ每日通勤し居る者なるが一昨朝午前七時頃同宮東側に倒臥し居るを認め直に大韓醫院に送り診察を乞はしめたるに疑もなき眞症コレラにして其報に接したる宮中にては何れも戰慄し典醫鈴木謙之助氏は係吏員全部を召集して一大消毒法を施行し一昨日は夜に入るまで非常に混雜を極め居たり

●虎疫豫防に關し注意

▲桐原南部署長の通達

南部警察署長桐原警視は目下京城の虎疫益々蔓延して終熄に至らざるを深く憂慮し市內各劇場寄席等に對し左記の如く嚴達せり

一、場外內の大清潔法を行ひ當分の內晝は五日每に貸座蒲團は每日日光に曝す可し
一、便所の清潔保持には特に注意し尿尿溜には日日必ず消毒藥を投入し其效能の持續に努む可し
一、場內仲賣營業者に於ては腐敗し易き飲食物又に果物類氷其他不消化物を販賣せしむ可からず
一、演劇者は勿論觀客中吐瀉するものあるときは即時臨監警察官に申告し若し在らざるときは電話其他の方法を以て警察署に急報す可し

●時事俳評

千春

▲北極探險の報告競爭
啼き渡る雁も北極便りかな
▲官吏用稅就輸入品
軒下に虫貰らうとて隱れけり
▲開闢以來の大豐作
暴落の期米電報や稻日和
▲お福さんの豪い權幕
臼大の尻振り立てゝ踊りけり
▲仁川虎疫の猖獗
稻妻や虎の遠吠へ恐ろしき

●愚昧なる韓婦人

黃海道白川郡上道面朴元才（三九）南署司蓄洞統戶不詳曹姓女（三八）は如何なる故か本年四月夫婦相談の上別れ／＼となり爾來全く夫妻の關係を絕ちたるものなるが曹は何に感じたか十四日午後七時頃最寄派出所に出頭し詰合巡查李長谿に以前朴と同棲中の損害金二十余圓あるに付き何分返還方設諭ありたしとの訴に朴同道一先づ南署に引致し嚴重取調べたる處全く事實無根にて曹が近頃生活困難の結果朴より前記の金額を騙取せんと企てたるものゝ知れ或は誣告罪成立するやも知れずとて其儘檢束取調中なり

●不正質屋の告發

仁川花町三丁目の質屋業丹波某は京城旭町一丁目居住の梅本義造よりの入質品をば期限內に他へ賣却したる事其筋の探知する處となり一昨日告發されたり

●水原に虎疫發生

今十五日水原居住の武石常作なるもの僞似虎列拉に罹りたるが檢診の結果眞性なること判明したり是れ水原に於ける虎病發生の第一なりと

●袖を引いて目玉

仁川花町一丁目の飮食店大黑屋の抱酌婦は一昨夜通行人の袖を引きたる廉に依り警官のお目玉を頂戴す

●迷子

十四日午後一時頃三四才の女兒本町一丁目に迷ひ居たるを南部署にて相當保護を加へ一面父母の所在を取調べたるも不明なれば目下同署に保護中

●俗調●

▲虎列拉豫防の歌（上）　魚遊痴史

秋の初めの涼風たてば
人のこゝろに緩みが出來て
油斷する間を付入る病魔
中に恐ろし虎列拉と云ふて
吐つ下痢しつ烈いものよ
わづか經つ間に眼はくぼみ
骨さへ肉さへ瘦せ衰へて
手足痺れて自由は利かず
惱み苦しみ爲た其の揚句
十に九つアあの世のものよ
されば皆さん能氣を付て
口に喰ふもの先づ第一に
吟味するのが何より大事
水はれ止しよ生水アいかぬ
酒も大酒は最う止しやんせ
好じやからとて澤山飮めば
旨いからとて無闇に喰へば
腸胃害ねて疾病の原よ
今や虎列剌が彼此流行る
油斷めさるな我が同胞よ

●演藝

▲壽座 は工事愈々進捗し遲くも來る廿日迄には開場の運びに至るべく登場俳優は既報の如く伊東文夫一座にして初日の出し狂言は『白虎隊』及び詩劇『稚曾我』なりと ▲田宮貞雄 等は大連歌舞伎座に乘込みしが頗る好人氣なりと尙ほ同一座は滿洲各所を巡業して來る十一月末當地に引揚ぐる筈 ▲龍山座 は例の小喜多村五郎の組織せる一座にて四五日中に開場の筈 ▲歌舞伎座 愛澤一座は相變らずの好景氣なるが今夜の藝題は『一つ柳毒殺事件』にして重なる配役左の如し

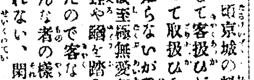
乳母れどく（西井）分孃きぬ子（桂木）夫人文子（河野）一つ柳信則（川上）らを屋の寅（角村）醫師深田（中村）盲屋（大和）警察署長、服部周造（松村）巡查浦島（天草）若者與吉（粟島）茶亭の娘もり（木村）木賃宿婆れさな（三島）刑事部長杉山清（美崎）馬丁金太（篠崎）車夫辰公實は刑事木村（愛澤）

吉凶鑑

本町五丁目　三一館判斷

九月十六日舊八月二日九紫先負己卯やぶる△一白 障礙多き日なるも意思の强行に依り發る〻邪あり鼠賊遺失防ぐべし△二黑 福祿の日とす收利收益あり婚姻金談就職仕官等吉△三碧 紛爭係爭は退隱に利あり其他平凡の日旅行醫井入學入門等凶△四綠 音信好事を齎すことあり兒童の保護教育の事留意を要す△五黃 衣錦昇殿の日とす新事決行利有り仕官就職拜謁會見等大に妙△六白 他人の親愛深ふして損害を蒙るあり色情を戒しむ△七赤 逡巡躊躇を捨てゝ計圖企策を實行するによし機を失ふべし△八白 進達の日とす進みなす事効を得婚談金談克く整ふ△九紫 中宮日にして厄運なり萬づ謹愼を要す酒色の破れを愼しむべし

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲此の頃京城の料理店の仲居は總じて客扱ひが惡い尤も人に依りて取扱ひを二三にするのか知らないが我々平民に對しては至極無愛想だ或はれ鄕里で蛙や蹈を踏み潰して步行て居たので客なんてものも矢張そんな者の樣に思つてるのか知れない、閑話休題其の仲居連の間に一人我が淸華亭のたはなは客にも藝妓にも主人にも受けが宜い感心だ（への字）▲近隣生の投書は不明の箇所あり沒とす（係）▲我輩も石井洞人君と同感だ近來長、太、米の三魔窟に居る賣春婦ども溫和く成たのは事實である尤も此頃の不景氣が彼等の意氣をして悄沈せしめたのかも知れんが兎に角此場合を利用して彼等の心機一轉を促すのは我輩等の爲すべき事業である（太平洞人）▲平民文庫の續きものは奇拔かも知らんが僕は贊成出來ないナー（寸鐵子）▲ハツハハ（係）▲西小門通り淫賣宿橫濱亭のテンポ嬶は相變らず太平湯に行つて小桶の中に小さくも無い臀を据へチャブ／＼洗つて其湯を覆しもせず其の儘にして置くさうだ實に不都合極まる阿魔である（煙酌玉）▲長谷川町一帶の酌婦の風儀が稍や良くなつたけれど……都合あり以下抹消あしからず（係）▲僕の畏友某氏は日頃强健を以て誇る今や職務上惡疫に感染して某病院の床上に橫たはるソコデ僕が御見舞として得意の都々逸を牽る『鬼を組敷く丈夫の主も哀れ病魔に倒された』何んと御受納あるや（伊豫子）▲蛇の道はへびと云ふことがあるが飮食店なぞが臨檢のあるのを嗅ぎ附ける事の早いのは驚く臭い匂いがするのだらう（ほへと）▲天氣豫報の間違うにも擬いて終ふ低氣壓が高氣壓が抔ど理窟は僕等に必要はないから雨るなら雨、風なら風と確固知らせて貰いたいものだ（鈍唐漢）▲西部管內八十六名の酌婦中有毒患者タッタ一名とは遊廓なぞよりは危險がない（久才造）▲吉田家の酌婦は無暗に通行人を引つ張り込まうとする不都合だ（通行人）

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鐵道、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社（四三一）
●被雇たし 中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし 氏名在社（四三五）
●雇入 鳥類剝製に經驗ある者至急雇入れたし 氏名在社（四三八）
年廿四體強大阪商業學校中途退學數年古着商に從事せし者相當の商店に雇れたし 氏名在社（四四〇）
年廿二生來繪畫に多大の興味を有するもの寫眞館に雇れ技術を見習ひたし確實保證人あり 氏名在社（四四一）
被雇度し 病人看護に經驗あり年四十二女 氏名在社（四四二）

物件部

○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社（四三三）
●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社（四三四）
●迷犬 雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黒斑點右迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ
●未設電話讓渡したし 氏名在社（四三七）
若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ 永樂座横 本田
本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ 永樂座横 本田

廣告

日韓新聞 廣告取扱 京城廣告社

入院隨意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各科診療

開業廣告

今般都合に依り荒井牧場を辭し左記の個所に於て牛乳販賣仕候間（但し牛乳は松尾牧場より）多少に拘らず御用仰せ付けの程伏て希願奉り候也
但し九月十五日よりは一合以上は市内は（朝晝夕）三回迅速に配達可仕候
京城旭町一丁目三百三十番戸
小生儀 愛光舍事 池田與八
取次申込所 京城旭町二丁目 山田屋商店 電話九百八十番

○消閑之淸遊○
毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城明治町一丁目
京城碁會
（大和湯前○万隣）
市中之仙境

營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣

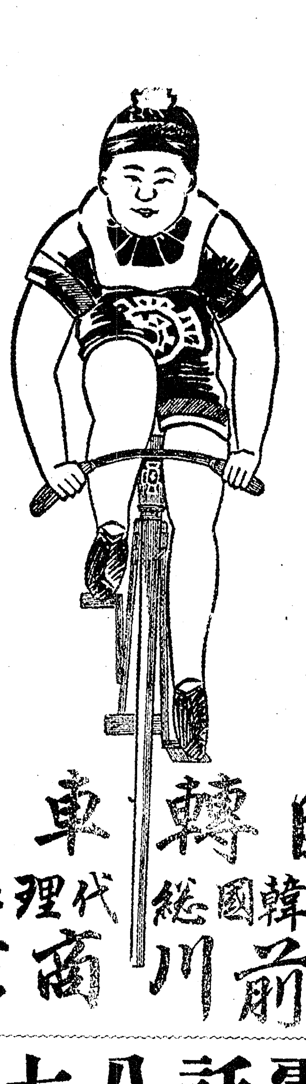
日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

見よ見よ見よ

堅牢鬼の如く輕快鳩の如き
ラシクル
（自轉車塗替修繕）



韓國義親王殿下賜御買上之榮
プリーミヤ
（呈定價表）

角自轉車商會
韓國總代理店 前川商店
電話八七番

織居商店の大發展
自轉車部移轉開設廣告
從來本町四丁目本店内にて時計及寫眞機と共に營業致居候處店舗狹隘の爲め今般自轉車部を本町二丁目に移し益業務に勉强仕候間倍舊御引立願上候

新荷着
英國製
コンマンダー號
スヰィトホーム號
ケンネット號
サクセス號
米國製
クリーブランド號
ギレク號
ウエスト號
セ子ラル號
修繕は特に迅速丁寧に可仕候
京城本町二丁目
織居自轉車部



九月十日
移轉廣告
正札より一割引
弊店儀大方各位の御引立を蒙り日々繁榮に赴き從來の店にては手狹を感じ候に付今回左記之場所に移轉し一層業務を擴張して御得意樣方の御便利を圖り聊平素御愛顧の萬分の一に酬ん爲め移轉の御披露として向一週間正札より一割引仕候間何卒一層御用命の程奉懇願候
京城本町二丁目
富田製靴店
電話九一九番
京城本町六丁目
富田製靴支店

牛馬犬豚 治療所
（入院隨意）
京城明治町三丁目（電話四二七番）
小川家畜病院
獸醫 小川龜太郎

綿わた 綿 ワタ
やすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

開業廣告
拜啓陳者下名儀多年内地に於て印刷業に從事致し居り候處當地に於て開業可致知人の懇篤なる勸めに任せ漸く諸種の準備を整ひ茲に開業致し候
營業種目
活版、石版、寫眞版、製本、和洋式帳簿等
の鮮明と精巧とを期し得べき技手職工を雇入れ活字は和文、歐文、鮮文取揃ね大は書籍新聞雜誌等の文章ものより小は名刺レッテルの類に至るまで印刷に差支なき樣整備いたし廣告類の如きは其意匠と要旨との大体を御示しあらば文句は作成して調進致すべく石版は普通器械に比し殆に二十倍の印刷力あるロールミシンと据付け可成器械力を利用して迅速と廉價とを計り親切鄭寧を旨として紙質を精撰し意匠に工夫を凝らし精心精意顧客の御便益を計らんと存候時は新秋事業界漸く多事ならんとする折柄多少に拘らず御用命被仰付度尙御序の節には工場御一覽の榮を賜り其空言ならぬ御實驗被成下度偏に冀ひ上げ奉候敬具
京城旭町二丁目（名古屋城の東三軒目）
京城印刷所
電話五七二番
龍山元町三丁目（郵便局向ひ）
第八十番戸中谷方
龍山出張所
電話三二九番

特約販賣 自製
（大）（命）（薫）
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、⊡精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
（電話二一五一番）

單衣大賣出し
自來る二十日二十二日迄で
正札より一割引
見切品種目
英子ル 一反四圓九十錢より 織色 一反八十錢より
セル 同 三圓三十錢より も黃 同 七十八錢より
名仙縞緋 同 三圓より 友仙モス 大巾尺廿二錢より
東京双子縞 同 一圓五十錢より 無地モス 同 十六錢
薩摩縞 同 一圓五十錢より 英子ル代用品 十二錢
木綿結城 同 一圓廿五錢より
大和絣 同 一圓七十錢より 更紗 大巾尺 七錢より
木綿縞 同 八十五錢より 八錢
其外大見切太物つり切山の如し
京城本町三丁目（電話一五七番）
全 圓城呉服店

待合
永樂町三丁目
嬉野

名聲銀牌受領
キリンビール

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番